

# JAFTAB

## NEWS

日本貿易学会

No.87

Jul. 2020

本部	〒370-1214 高崎市根小屋町 741 高崎商科大学 商学部 吉岡秀輝研究室
事務局	〒500-8288 岐阜市中鶉 1-38 岐阜聖徳学園大学 経済情報学部 河野公洋研究室
東部事務局	〒279-8550 浦安市明海 1 明海大学 ホスピタリティ・ツーリズム学部 三輪祥宏研究室
西部事務局	〒581-8511 八尾市楽音寺 6-10 大阪経済法科大学 国際学部 高砂謙二研究室

## ご挨拶

会長 吉岡秀輝（高崎商科大学）

中国湖北省武漢市に華南海鮮卸売市場という敷地面積5万平方メートルの巨大市場があり、そこで昨年12月、世界で最初の新型コロナウイルス集団感染が発生したと言われています。当初、対岸の火事として、あまり気にすることもなかったわが国でも、今年2月3日、横浜港に到着したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の船内で感染が確認されると、状況は大きく変わりました。感染はじわじわと増加し、緊急事態宣言の発出と解除を経て、今日に至っています。待たれるのは、ワクチンと治療薬の開発、市場への普及です。新聞報道では、海外製薬会社が進めるワクチン開発は、最短で今年9月から実用化の段階に入るそうで、それに期待したいです。

さて、昨年5月25日と26日の両日、松山大学において実行委員長・上羽博人先生のご尽力のもと、盛会のうちに第59回全国大会を終えることができました。全国大会終了後、同大学において直ちに新理事会が開かれ、会務の運営にあたることになりました。それから1年以上が過ぎました。しかし、上述のとおり、今年3月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実質的に会務運営は、休止状態に陥りました。

そのようななか、4月16日にかろうじて、オンライン会議形式による今年度最初の役員懇談会を開くことができ、冒頭、オンライン会議の有効性が認められて、各事項の報告、審議に入りました。最大の案件は、言うまでもなく、第60回全国大会の実施に関してです。主催校である早稲田大学の田口尚志先生より中止・延期の動議が出され、承認されました。詳細は、本ニュースレターでお知らせするとおりです。その後は、この6月26日、27日の全国理事会および総会のオンライン会議でした。

中止になりましたが、今年度の全国大会は、記念すべき第60回大会になるはずでした。しかも、それが早稲田大学において開催されることに大いなる意義がありました。というのも、当学会の初代会長は、早稲田大学の土坂西三先生が務められ、1961年から69年の9年間、学会の発展のために尽くしてこられたからであります。その流れをくむ田口先生が全国大会開催をお引き受けくださったのも、早稲田大学の伝統を継承するという意思の表れであったのではないかと推察しております。残念ながら、今年度は中止せざるを得なくなりました。これまで、田口先生には会場の確保や、準備委員の先生方との打ち合わせ、基調講演予定者との依頼交渉など様々にご苦労いただきました。しかし、そのすべてが決して無に帰したわけではなく、来年度の開催に生かすことができますので、より充実した全国大会が実現するものと確信しております。今後とも、会員の先生方のさらなるご支援、ご協力を切にお願いする次第であります。

2020年7月

## 1. 全国大会について

### ①第 60 回全国大会に係る報告

早稲田大学にて、田口尚志理事を準備委員長に開催予定でした第 60 回記念全国大会は、学会ホームページなどで既報の通り延期となりました。大変魅力的なプログラムも出来、報告者も多数ご応募頂き、60 周年記念に歴代の会長にご登壇頂くシンポジウムも企画するなど準備万端整った矢先の中止決定となりました。

事務局では、2020 年 4 月 16 日理事懇談会をオンラインで開催し、役員 21 名の参加を得て、オンラインによる理事会などの内規を決定し、稟議の上、今大会を中止する事となりました。

### ②次期全国大会主催校の件【2020 年第 60 回全国大会開催に関して】

第 60 回全国大会は、2021 年という学会設立 20 周年の年に、早稲田大学にて開催されることが決定致しました。田口尚志理事には、引き続き大会準備委員長として準備作業をお願いする事になります。自由論題につきましては再募集をすることになります。詳細は、決定次第、ホームページ、Facebook などにてお知らせ致します。

## 2. 2020 年度 理事会・会員総会 議事録（抄）

理事会 日時：2020 年 6 月 26 日（金） 16:00～18:00

場所：オンライン会議室（ZOOM）

出席者：会長 吉岡秀輝 以下、役員 23 名 （出席理事 22 名内委任状 2 名）

会員総会 日時：2020 年 6 月 27 日（土） 15:00～17:00

場所：オンライン会議室（ZOOM）

【報告事項】 すべて[学会ホームページ](#)上に 1 年間掲載した通りです。

### 第 1 号議案 2019 年度事業報告

第 60 回全国大会の来年度への延期について

2020 年度上半期の部会中止について

- |                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| (1) 第 59 回大会について  | (2) 部会・研究会・経済学会連合報告          |
| (3) 学会誌・研究論文公刊報告  | (4) JAFTAB ニュースについて（WEB 掲載化） |
| (5) 学会ホームページの運営状況 | (6) 国際交流について                 |
| (7) 日本貿易学会賞について   | (8) 学術著作権協会への委託契約の更新について     |
| (9) その他 補正予算のご報告  |                              |

適正に執行するため、2019 年 11 月 30 日全国理事会にて、当初予定（第 59 回全国大会会員総会）通り、下記の通り補正予算を決定した。

### 【審議事項】（抄録）

第 2 号議案 会員の入会・退会等 事務局より資料に基き説明があり承認された。

新入会	東部	正会員	6 名	一般会員	1 名	退会	10 名
	西部	正会員	5 名	一般会員	3 名		

所属変更 3 名 シニア会員への変更 4 名 一般会員から正会員 2 名 住所変更 1 名

個人情報保護の為ニュースへの氏名の記載はしません。

第 3 号議案 2019 年度決算 井上泰伸理事より資料により説明があり、

中村嘉孝監事、宋俊憲監事により、コロナ禍の中、会計関連書類、帳票類などを郵送による稟議を頂き、恙なく監査を行った旨も併せて報告され決算について承認された。

単位：円

収入の部	予 算	決 算	決算－予算
収入の部合計	13,183,219	13,060,228	△ 122,991
支出の部	予 算	決 算	決算－予算
支出小計	3,452,000	2,533,052	△ 918,948
次年度繰越金	9,731,219	10,527,176	795,957
支出の部合計	13,183,219	13,060,228	△ 122,991

第4号議案 2020年事業計画(案) 事務局より資料に基き説明があり、

・2020年度会費半額について

2020年度は、全国大会の延期、東西部会の中止→オンライン化、会議のオンライン開催などにより、会務が例年とは全く違った編成となり、学会誌・研究年報以外、ルーティンワークが止まった状態となった。例年の予算で最も費用の掛かる①全国大会の延期、次に経費の掛かる②学会誌の公刊費用見直し(昨年619,698円→本年267,740円執行済)、③事務の外部委託見直し(380,012円+郵送、書籍等預かり費等)などから、動議として新型コロナウイルス禍対応予算編成として、本年度に限り、年会費を半額にする事が承認された。

・2021年(創設60周年)に第60回全国大会を開催し、併せて60周年記念事業のシンポジウムを延期して行う旨、承認された。

・①今年度の会務の休眠状況、②来年延期された60回記念大会の煩雑な時に選挙をするという手間を省きたい、③西部で全国大会を開催する参加者が少ない時に選挙を開催するという慣例に従い、動議として2021年に予定の役員改選を1年先延ばしにする事が提案され、承認された。

・他学会の例からも、査読という重責に対する謝礼は、その結果への責任からも必要な状況下にある。1件5,000円を査読者への謝礼とする旨が承認された。(予算措置等は、理事会にて予備費から補正する)。

・学会誌 第58号 2021年3月 公刊 これまで通りの公刊とする。

・研究論文 第10号 2021年5月発行 2020年3月締切分査読を終えWEB公開済、2020年9月締切分 本年開催予定の全国大会自由論題登壇予定者に寄稿依頼済みについても承認された。

・東西部会は、本年度中は開催中止(オンラインで行う)

第1弾8月1日(土)「東西合同オンライン部会研究報告会開催」が承認された。



## 学会 Facebook ページ

フォローと「いいね！」を  
お願いします。



第5号議案 2020年度予算(案) 事務局より資料により説明があり、

単位:円

収入の部	予 算	決算(実績)	予算-決算
収入の部合計	12,077,176	13,060,228	△ 983,052
支出の部	予 算	決算(実績)	予算-決算
支出小計	1,948,600	2,533,052	△ 584,452
次年度繰越金	10,128,576	10,527,176	△ 398,600
支出の部合計	12,077,176	13,060,228	△ 983,052

第6号議案 研究年報の学会誌への合本について 岩田伸人理事より資料に基き説明があり、  
研究論文(リサーチペーパー)をWEB発行後、年度末の学会誌巻末への合本が承認された。

第7号議案 役員任期と定年について 事務局より説明があり、

平成7年、11年に現状の選挙制度に改訂から会員数が最盛期の半減以下となり、新型コロナウイルス禍による学会活動の停滞は、役員選挙制度について考える良い機会を得たと考え①1期4年在職後の2年降板、②70歳定年、③会長の通算4年迄、④はがきによる推薦投票という4つを改訂する原案が提案され、また、現状25名の理事数についても検討し、この議案は継続審議として、次回会員総会(令和3年度開催)にて決定する旨が説明され承認された。

第8号議案 研究助成制度の内規から規程化、6月締め切りから、年度末(3月末)締めへの変更が、加藤孝治委員長より資料に基き説明があり承認された。(学会ホームページ上に新規規程は掲載されております。)

第9号議案 事務局より委員会制度の規程化と「**研究倫理委員会**」の設置、それに伴う会則改訂について説明があり承認された。(学会ホームページ上に新規規程、改訂された会則は掲載されております。)

● 会費納入のお願い ●

本年度の会費(5,000円、シニア会員・大学院生2,500円)の納入をお願い致します。  
また、過年度分が未納の方は、併せて納入頂くようお願い致します。

郵便振替口座 00100-9-513578 日本貿易学会  
他行から振込の場合 〇一九(ゼロイチキョウ)店 当座 0513578

● 住所等変更について ●

会費の問合せ、登録住所・所属・メールアドレスの変更がございましたら、学会事務局までお届け下さい。事務取扱の外部委託を2020年8月末にて解約する事になりました。

日本貿易学会 E-Mail: [office@jaftab.org](mailto:office@jaftab.org)

### 3. 会員へのお知らせ

#### ① 新入会員の募集

日本貿易学会は、1961年（昭和36年）7月1日設立のグローバルビジネス研究のパイオニアの学会です。最近では、一般会員（広くビジネス・フィールドでご活躍されている方）や大学院博士前期課程の院生を受け入れるための会則変更を行い、広く貿易にご関心のある諸氏を募っております。現会員の皆様の周辺におられる方で、ご興味のある方をご紹介いただきたく、よろしくお願いいたします。

貿易のほか、国際ビジネス、国際マーケティングから物流・金融などの領域まで、幅広い分野が対象となります。また、大学関係者（教員、大学院生）のほか、企業で調査・研究をされている方、及び、直接実務に携わる方にも、お声掛け頂きますようお願いいたします。

#### ② 学会活動へのリモート参加について

例年東部・西部（関西・広島・九州）において、地域部会を開催して参りました、部会は、会員研究の報告や懇親の場として、1970年から開催して参りました。特に、若手の登竜門としてご活用頂いておりますが、今般、コロナ禍の現状で、夫々の地域での開催は、自粛することになりました。そこで、地域性を問わず、オンラインでの研究会を開催致します。

積極的に参加し、発表頂きますようお願い致します。学会の活動が活発になることで情報交流の意義が高まります。報告者の発表は、会員諸兄からのコメントや質疑の中でブラッシュアップされます。会員相互の親睦を図って頂くことも、学会に参加していることの意義です。会員各位が、積極的に学会の場を活かし自らの研究成果を報告して頂きますよう、併せてお願いいたします

#### ③ メールアドレス提供のお願い

2020年8月末にて、事務処理を委託しておりました外部業者を解約する事となりました。会費のご請求、学会誌の発送、会員名簿の管理などを委託しておりましたが、今後、事務局にて行います。これまでと変わりなく連絡は、Eメール、学会ホームページを利用して行います。スマホや携帯のアドレスでも構いませんので、メールアドレスの変更、ご所属の変更によるアドレスの削除などで、ご連絡がお届け頂けない方が居られます。

**アドレスを変更された場合は、学会事務局宛にご連絡下さい。**

### 4. 第1回東西合同部会 オンライン研究報告会

会員総会でご連絡致しました研究報告会を次ページの日程・要領にて開催致します。

WEB上からどなたでもご参加できますので、万障お繰り合わせの上、ご参集頂きますようご案内申し上げます。

参加希望を「お問い合わせ」ページから「氏名・所属・メールアドレス」をご記入の上、7月30日（木）までにご連絡下さい。開催アドレス・URLは、前日（7月31日（金））に送信致します。

事前登録をお願いする理由は、不正参加者の乱入や、報告会の妨害を防ぐためです。

期日前にお送りする参加用のIDやパスワードなどのお取り扱いには、充分ご注意下さい。

尚、学会外の参加希望者を排除する意図はありません。奮ってご紹介下さい。

日時： 8月1日（土）15：00～18：00

場所： 指定のWEB上（ZOOM）

第1報告 羽田 翔（日本大学）

「日本における企業の構造変化と雇用調整」

コメンテーター： 井尻直彦（日本大学）

第2報告 前野高章（日本大学）、陸 亦群（日本大学）、安田知絵（日本大学）

「貿易データから見る中国国境地域の国際分業」

コメンテーター： 岩田伸人（青山学院大学）

第3報告 長沼 健（同志社大学）

「商法改正がサレンダーB/Lの使用率に与える影響について～ソフトローの定着メカニズムの観点から～」

コメンテーター： 田口尚志（早稲田大学）

研究報告は、 1報告 55分

- ・数日前迄に報告資料を学会WEB上に掲載致します。
- ・報告者は、30分程度で研究報告を行います。
- ・コメンテーターは3～5分程度コメントをします。
- ・オーディエンスは、研究報告中、チャット機能で質問などを書き込みしてください。
- ・報告者は、コメンテーターの終了後、チャットに寄せられた質問から、お応えしていく形で、質疑応答・討論を進めます。

尚、当日、資料の掲示は、報告者が適宜行いながら報告をしますが、スマホでのご参加などをお考えの方は、事前に各自プリントアウトするなどご準備ください。

ZOOMによって開催します。WEB上から参加できますが、安定した環境で参加するには、下記URLから事前に無料ソフト・アプリをダウンロード下さい。<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

部会は、会員以外の一般の参加者もフリーで随時受け付けてまいりましたが、今回は、事前に「お問い合わせ」ページから「氏名、ご所属、住所、メールアドレス」（必須）を明記の上、事務局宛にご照会下さい。また、新規参加者をご紹介頂けると幸いです。

講義で、グーグルのmeetsやマイクロソフトのteamsは使っているが、ZOOMは使っていないという方、スマホでも参加出来るかどうか不安な方、随時、ZOOM体験会・動作確認会を開催致しますので、事務局宛にご遠慮なくご連絡ください。コロナ禍ではじまったリモート・オンラインの環境を逆手にとって研究の充実に生かしましょう。